

じそんのかね

自尊の鐘



蕪崎西中学校 学校だより

2020.11.9. NO15

発行責任者 校長 秋澤英俊

「人を敬い、いっくしみ、自らをたつとび高める」、校訓『敬愛自尊』のもとに、毎朝鳴らされる「自尊の鐘」。今日をどのように過ごし自分を高めていくのか、鐘の音を聴きながら「理想をめざし日に進む」(校歌)、生徒たちの成長の姿をお知らせします。

みんなで歌うことの楽しさを味わう —合唱祭の取組—

合唱の取組みが始まって、校舎内から、少しずつ歌声が聞こえてくるようになりました。4月からほとんどやっていなかった合唱なので、昨年までの合唱と比べると声も小さく「ささやく」ような歌声で「こりゃ大丈夫かな?」と始まった当初は思っていました。改めて3月からのコロナウイルス拡大の影響の大きさを感じています。

そんな日々の中、先週の金曜日、6日から星ひろみ先生の指導が始まりました。今年も星先生の情熱あふれる指導を受け、学級全体でそろって声を出し、生徒達も徐々にみんなで歌い創り上げることの喜びを感じつつあります。ようやく少し合唱らしくなってきました。先輩達から受け継いできた伝統をつなげていく合唱祭、やるからにはひるまず、思い切って声をだし、仲間と共に歌う喜びを感じながら曲の想いを理解し、自分たちなりの表現を工夫してほしいと思います。



もちろんコロナ感染症対策をしっかりと守りながらですが・・・2校時ふれあいホールで練習していた3年生のあるクラスでは、指揮者の生徒が、合わせ練習で並ぶときに、「もっと距離をとって!」という指示を出していました。すぐに片手を広げて互いの距離を確かめている生徒達の姿も見られました。自分たちの安全は、声を掛け合い自分たちで守りながら活動をする、西中生には合唱の取組みを通してそんな力も身につけてほしいと思います。

来週の水曜日には本番です。もう一度学級合唱の原点に戻り、「なんのために歌うのか」「どんな歌にするのか」を確かめ合い、学級の底力を見せてくれることを願っています。



休憩時間に手洗いもしています。



西鐘の音ホールでレッスンを受けました。各クラス2回、見てもらいます。

